

# シシリムカ文化大学講座 第2回 通算100

オンライン配信あり / 参加無料

2025 **8月1日** (金)  
18:30~20:45  
イオル文化交流センター

## 講師

あおき たつじ  
**青木 達司** 氏  
文化庁文化財第二課  
文化財調査官

いちはら ふじお  
**市原 富士夫** 氏  
文化庁文化財第二課  
文化財調査官 主任

## テーマ

### 【ピリカノカ=カムイ(自然)とアイヌ(人間)が共につくる文化財】

■ 受講方法 ▼【A】・【B】下記の2つの方法から、ご希望や通信環境などに応じてお選びください。  
【A】会場(イオル文化交流センター:平取町二風谷228)での受講を希望する方=事前申込は不要  
【B】自宅や職場などでスマホ/タブレット/PCでの受講を希望する方=事前申込が必要  
▼申込メ切は、7/30の17時まで(厳守)です。  
<https://x.gd/oReJA>か、右のQRコードからどうぞ。

主催 平取町  
事務局 株式会社平取町アイヌ文化振興公社  
TEL:01457-2-2152 MAIL:sisirimuka.c@gmail.com

本事業は【アイヌ政策推進交付金】を活用しています



■ 今回(文化大学講座 令和7年度 第2回/通算第100回)の講座テーマ

## ピリカノカ=カムイ(自然)とアイヌ(人間)が共につくる文化財

■ 主 催 平取町

■ 主 管 アイヌ施策推進課/事務局=(株)平取町アイヌ文化振興公社

■ 文化大学運営協力団体 平取町アイヌ総合政策推進協議会/平取アイヌ協会/平取町教育委員会/  
鶴川沙流川河川事務所/日高北部森林管理署/北海道大学アイヌ・先住民研究センター(CAIS)  
北海道大学観光学高等研究センター(CATS)

※これらの機関・団体などにご協力いただきながら「大学」を運営しています。

■ 今回講座の趣旨

- ①平取町にもある「名勝」と「文化的景観」という分野の「文化財」について、あらためて考えてみる。
- ②町の「名勝」と「文化的景観」がどんなものか、伝えられてきた物語や歴史などにふれてみる。
- ③町民、道民、国民のたいせつな文化的財産として、どう守り活かせばよいか、みんなで考えてみる。

■ 内 容 ※一部変更となる場合がありますので、ご了承ください

開会 18:30

講義 1 18:40~19:30

講義題 【名勝とその保護—北海道の伝承・精神文化に関する景観—】

講 師 青木 達司 (あおき たつじ)氏

講義 2 19:30~20:20

講義題 【日本の多様な文化的景観と沙流川流域の景観】

講 師 市原 富士夫 (いちはら ふじお)氏

閉会 20:45

■ 講師プロフィール



### ◀ 青木 達司

新潟県生まれ。京都大学大学院農学研究科森林科学専攻博士後期課程指導認定退学。独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所主任研究員を経て、2013年文化庁文化財部記念物課文化財調査官(名勝部門)に着任。現在の所属は文化庁文化財第二課。専門は造園学。



### ◀ 市原 富士夫

東京都生まれ。東京大学工学系研究科都市工学専攻博士課程中退。民間設計事務所を経て、2001年に文化庁入庁、史跡整備や文化的景観を担当。この間、ユネスコ世界遺産センター(パリ)、文化財保存修復研究国際センター(ローマ)へ出向。日本各地の文化的景観や史跡を活かしたまちづくりに携わり、平取町の「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」も長く担当している。